



# 白門板橋

2015. 9. 15 VOL.44

編集  
発行

中央大学学会 東京板橋区支部  
〒173-0031 東京都板橋区大谷口北町7-5 TEL03-3956-5330



## ■巻頭言

### この1年間を振り返って

支部長 池田巨利

私が昨年の6月に支部長に選任されてから、早くも1年が経過しました。この1年間を振り返ってみますと、支部長という仕事の責任の重さを痛感しています。小日向元支部長、石塚前支部長のご功績が、いかに偉大であったことか、お二人を見習わなければなりません。

私はこの1年間に、長年の懸案だった支部の新しい名簿を作りました。会計幹事の緻密な資料をもとに、作成にたずさわった多くの関係者に対し感謝いたします。正確な会費納入者を厳選しましたので、以前より60人ほど会員が減ってしまったことは残念ですが、会費納入がなければ支部の活動そのものが成り立ちません。これからはいかに新会員を増やしていくかが、最大の目標です。新会員の募集を容易にするため、会費の一部を改正しました。

この度の春の叙勲・褒章では、当支部から3人の方が勲章を授与されました。国民のため社会のため、努力を重ねてきた当支部所属の3人の会員が表彰されたことは大変名誉なことであり、支部の誇りです。当支部でも規定に基づき3人を表彰いたしました。5年後には東京でオリンピックが開催されます。スポーツは人々を元気づけます。当支部でもこれにあやかり、支部スポーツ発展のためにポト部を新設しました。

若い青春の時代に、中央大学で共に学んだというただそれだけの理由で、堅く結ばれる大学との絆は、なものにも代えがたい貴重な財産であり、母校があつてこそその支部活動です。

これからもお互いに力を合わせて支部を充実させ、それが母校の発展に連なることを願い、がんばっていきましょう。

# 支部のニュース

## 第27回定時総会の開催

当支部は、6月13日(土)、板橋区立文化会館において、第27回定時総会及び懇親会を開催した。

学生会本部より室 勝弘副会長のご臨席のもと、会員53人、合計54人出席の盛会となった。

初めに大野幹事長により、昨年の総会以降に亡くなられた会員3人に対し黙とうをささげた。

続いて池田支部長の挨拶の後、支部長を議長に選出し、議案の審議に入った。(4ページ〜5ページ参照) 総会後の懇親会では、春の叙勲・褒章で受章された菅、三浦、岡田の各氏に表彰状と記念品が支部長より贈呈された。



▲室 勝弘氏のご挨拶

その後、ご来賓の室 勝弘学員会副会長からご挨拶と現況報告を

いただき、小日向孝介顧問の乾杯の音頭で宴会を開始。

新入会員や初参加者の挨拶が続き、いつものように校歌、応援歌、惜別の歌を大合唱した後、深山 宏副支部長による閉会の言葉で散会となった。(徳永勝彦)

## 春の叙勲・褒章受章者

春の叙勲において、当支部から次の3人の方々が表彰されました。当支部でも慶弔規約により、表彰するとともに、記念品を贈呈しました。おめでとございます。



▲右より菅・三浦・岡田の各氏

## ○菅 東一氏

区議・都議として、長年にわたる地方自治の功労により「旭日小綬章」を授与されました。

## ○三浦崇男氏

労働基準監督官として、長年にわたる労働行政事務の功労により「瑞宝小綬章」を授与されました。

## ○岡田利彦氏

板橋消防団員(現・副団長)として、長年にわたる消防功績により「藍綬褒章」を授与されました。(池田亘利)

## 南谷端公園で桜を愛でる

4月4日(土)、当支部では、板橋駅東口に集合して、恒例の観桜会を行った。参加人数は例年よりすこし少なく25名。

最初にくぐ近くにある、近藤勇の墓に行き、一緒に祭られている土方歳三、永倉新八、3名の新選組隊士達に回向を手向けた後、和気あいあいと滝野川桜通りを見物し、北谷端公園に向かった。

その後、南谷端公園に行き、しばらく桜の花を愛でながら、写真を撮った。その時の集合写真は、この小冊子の表紙を飾っている。

公園には、児童用の遊具もあり、子供の頃を懐かしく思い出した。宴会は板橋駅近くの中華料理店「味香春」で、料理も評判どおりおいしく、大変楽しい一日を過ごすことができた。

今回は板橋ブロックの担当で、宮崎雄文、豊田哲夫、中三川の3人が皆様のお世話をしました。

(観桜会幹事 中三川孝幸)

## 岡田利彦氏の受章祝賀会

岡田利彦氏の「藍綬褒章受章祝賀会」が、8月9日(日)、ハイライフプラザいたばしで開催された。会場には243人もの人々が集まり、栄えある受章を祝った。

昭和49年に板橋消防団に入団、それ以降41年間にわたり、ひたすら地域の安全と安心に尽くした功績は大きく、板橋消防団長をはじめ、政治家や各地区の消防関係者が列席してその功を祝った。



▲区議の祝福を受ける 岡田ご夫妻(右)

木遣歌で知られる浅草一声会との交流も深く、また太鼓の会の設立につくした経歴から多くの芸人も出席して、踊りや歌で会を盛り上げた。お孫さんの太鼓演技の後には、自分でも撥を握り、豪快な太鼓をたたいて出席者を和ませた。豪華で盛大な祝賀会であった。

(伊藤 潤)

# 母校のニュース

## ■オリンピック担当大臣に、遠藤利明氏が就任

東京オリンピック・パラリンピック特別措置法に基づき、6月25日、五輪担当大臣に遠藤利明（としあき）氏が就任した。

遠藤氏は、自由民主党所属の衆議院議員で元文部科学副大臣。

山形県出身で中央大学法学部法律学科を卒業後、政治の世界に入り、県議会議員を務めたのち、国会議員となる。

大学時代は、ラグビー部に所属し、スポーツ行政に造詣が深い。

五輪担当大臣は国務大臣で、関連省庁や組織との調整役および選手強化などの任務に当たる。

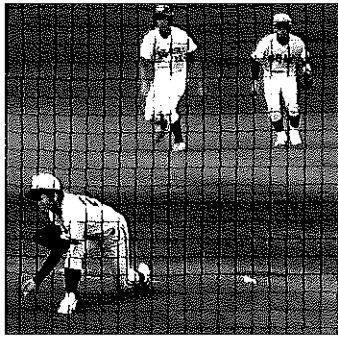
## ■平成27年司法試験（短答式）法科大学院別合格者数

6月4日法務省は、短答式の合格者を発表した。一位・中大院372人、二位・早稲田大院363人、三位・予備試験294人、四位・慶応義塾大院274人、五位・東大院233人。最終合格者の発表は、9月8日。  
(伊藤 潤)

## ■東都大学野球春季リーグ戦 中大惜しくも優勝逃す

5月28日（木）に全日程を終えた東都大学野球春季リーグ戦は、二部から昇格した専大が、あれよあれよという間に優勝をさらい、26年ぶりに戦国東都の覇者になった。

母校・中大は開幕早々に専大に足元をすくわれ、まさかの敗戦。勝点4をあげながら、同勝点の専大に勝率で七分三厘の差で優勝を逃がした。非常に残念なシリーズだった。



▲中大のサウスポー

各校の成績は、次のとおり。

一位	専大	八勝二敗	勝点4
二位	中大	八勝三敗	勝点4
三位	国学院	七勝五敗	勝点3
四位	駒大	五勝七敗	勝点2
五位	亜大	四勝八敗	勝点1

六位 拓大 二勝九敗 勝点1  
(※試合数が10を超える場合は、引分を含む)

秋季リーグ戦は、入替戦で二部から古豪・日大が昇格したので、優勝の行方は全く予想困難で、混戦は避けられそうもない。  
(平山惟美)

## ■箱根駅伝予選会

10月17日（土）箱根駅伝予選会が陸上自衛隊立川駐屯地と昭和記念公園で行われます。

6回の連続優勝、14回の総合優勝、86回の連続出場と数々の最多記録を誇る中央大学が、なんと3年連続の予選会出場。

この厳しい状況を何としても乗り越えてもらいたい。それが伝統の力というものです。

スタートは9時30分、駐屯地を出発予定、ゴールおよび結果発表は、昭和記念公園内。

「正月は箱根から」といわれます。時間のある方は、是非会場に出かけて応援をお願いします。皆さんの応援の力で楽しみな正月を迎えたいものです。

ガンバレ中央・・・中央ガンバレ・・・  
(大野正浩)

## ■大相撲を支える 学生相撲出身力士

母校が輩出した力士には、豪風（尾車部屋）がいて、最高位は関脇まで昇格し、現在、幕内で活躍中であるが、中大卒の現役力士は、豪風1人になってしまった。

これまで学生相撲出身力士には、輪島（横綱・日大）、豊山（大関・東京農大）、朝潮（大関・近大）、豊國（小結・中大）、出島（大関・中大）、玉春日（関脇・中大）などがいて、幕下付出しで初土俵を踏み、その後入幕していた。さて、平成27年7月の名古屋場所を見ると、幕内力士42人の内、学生相撲出身者は、小結の宝富士（近大）、妙義龍（日体大）を筆頭に11人もいる。

中でも幕下十五枚目格付出しで初土俵を踏んだのは、豪風、妙義龍、遠藤（日大）、千代大龍（日体大）の4力士で、十面を入れると18人が学士（大卒）の関取ということになる。

この数は、全関取の内、4分の1以上を占めているので、現在の大相撲界は、学生相撲出身力士に支えられていることになる。

(池田亘利)

# 定時総会報告書

開催日／平成27年6月13日(土)  
会 場／板橋区立文化会館

第27回定時総会が、大野幹事長  
司会のもとに、実施されましたの  
で、次のとおり報告いたします。

## ■第一号議案

### 平成26年度事業報告の件

(自・平成26年4月1日)  
至・平成27年3月31日)

徳永事務局長から報告があり、  
異議なく承認された。

- \* \* \*
- \* \* \*
- \* \* \*
- 4月5日(土) 観桜会 35人
- 都立赤塚公園
- 4月13日(日) 囲碁同好会
- 毎月第2日曜定例会 延120人
- 4月23日(火) パソコン同好会
- 企業活性化センター7回 延44人
- 4月24日(水) ゴルフ同好会
- 9月と年2回開催 延32人
- 5月10日(土) カラオケ同好会
- 10月と年2回開催 延32人
- 5月16日(金) 幹事会
- グリーンホール402号室 34人
- 6月15日(日) 第26回定時総会

区立文化会館 67人

7月29日(火) 会報「白門板橋」  
編集会議 ルノアール 6人

8月28日(木) 常任幹事会  
グリーンホール402号室 28人

9月17日(水) 会報 発送作業  
常盤台町会事務所 7人

9月22日(月) 板橋区民まつり  
打合せ 丸十会議室 6人

10月18日(土) 都区内支部連絡  
会総会 京王プラザ 2人

10月18日(土) 19日(日)  
板橋区民まつり参加 延20人

10月26日(日) 23回ホームカミ  
ングデー参加多摩校舎 12人

11月9日(日) 秋のバス旅行  
(日帰り) 北茨城「鮫鱈鍋」16人

11月22日(土) 白門レガッタ参  
加 戸田ボート場 10人

12月6日(土) 忘年会 トミコ  
シ会議「玉華」(志村・坂下) 29人

1月24日(土) 新年会  
板橋区立文化会館 40人

2月23日(月) 新会員名簿の製  
本作業 深山事務所 6人

(以上)

## ■第二号議案

### 平成26年度収支決算報告並びに 監査報告の件

(自・平成26年4月1日)  
至・平成27年3月31日)

\* \* \*  
左表のとおり、前年度の収支決  
算書(収入・支出の部)の説明が  
小宮会計幹事からなされた。  
引き続き、監査報告が関上監事  
により行われて、満場これに異議  
なく、拍手をもって承認・可決さ  
れた。

## 平成26年度収支決算書

自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日

		収入の部	
目	目	予算額	決算額
社会費	社会費	560,000	385,032
役員会費	役員会費	30,000	6,960
常任幹事会費	常任幹事会費	180,000	54,000
幹事会費	幹事会費	100,000	49,500
新年会費	新年会費	420,000	259,400
親睦会費	親睦会費	150,000	210,000
旅行会費	旅行会費	750,000	233,584
忘年会費	忘年会費	250,000	180,000
復活会補助	復活会補助	100,000	20,660
友好会補助	友好会補助	40,000	40,000
会員増強費	会員増強費	100,000	10,927
プロック交換	プロック交換	210,000	0
事務局費	事務局費	50,000	6,284
中央大学訪問費	中央大学訪問費	75,000	0
会報作成費	会報作成費	400,000	293,220
施設使用費	施設使用費	100,000	88,980
印刷費	印刷費	100,000	34,905
ネット管理費	ネット管理費	50,000	4,960
通信費	通信費	150,000	120,888
展覧会交際費	展覧会交際費	100,000	92,200
消耗品費	消耗品費	20,000	18,558
支払手数料	支払手数料	20,000	10,376
雑費	雑費	5,000	0
予備費	予備費	304,380	0
計	計	4,264,380	2,794,212

## 平成26年度収支決算書

自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日

		支出の部	
目	目	予算額	決算額
社会費	社会費	560,000	385,032
役員会費	役員会費	30,000	6,960
常任幹事会費	常任幹事会費	180,000	54,000
幹事会費	幹事会費	100,000	49,500
新年会費	新年会費	420,000	259,400
親睦会費	親睦会費	150,000	210,000
旅行会費	旅行会費	750,000	233,584
忘年会費	忘年会費	250,000	180,000
復活会補助	復活会補助	100,000	20,660
友好会補助	友好会補助	40,000	40,000
会員増強費	会員増強費	100,000	10,927
プロック交換	プロック交換	210,000	0
事務局費	事務局費	50,000	6,284
中央大学訪問費	中央大学訪問費	75,000	0
会報作成費	会報作成費	400,000	293,220
施設使用費	施設使用費	100,000	88,980
印刷費	印刷費	100,000	34,905
ネット管理費	ネット管理費	50,000	4,960
通信費	通信費	150,000	120,888
展覧会交際費	展覧会交際費	100,000	92,200
消耗品費	消耗品費	20,000	18,558
支払手数料	支払手数料	20,000	10,376
雑費	雑費	5,000	0
予備費	予備費	304,380	0
計	計	4,264,380	2,794,212

## 平成26年度 貸借対照表

平成27年3月31日現在

資産の部		負債・剰余金の部	
科目	金額	科目	金額
現金	47,840	長期借入金	673,778
短期借入金	151,335		
受取手形	280,165		
有価証券	94,845		
貸付金	2		
計	673,778	計	673,778

上記の通りご報告いたします。

平成27年5月11日

中央大学学員会 東京板橋区支部 監事 関上 雄次  
会計監事 小宮 貴也

## 監査報告書

監事小宮貴也は板橋区支部の平成26年度会計について監査の結果、決算及び関係書類の全計帳簿を逐次行われており、異議なく承認されたものと認めます。

平成27年5月11日

中央大学学員会 東京板橋区支部 監事 関上 雄次  
同 中橋 義典  
同 藤原 三郎

■第二号議案

平成27年度事業計画(案)の件

(自・平成27年4月1日)  
至・平成28年3月31日)  
徳永事務局長から次の事業計画案の説明があり、満場異議なく拍手をもって承認可決された。

一、第27回定時総会・懇親会

日時 6月13日(土)  
会場 板橋区立文化会館

二、親睦会の開催

観桜会 4月4日(土)

JR板橋駅前 桜並木散策  
中華「味香春」開催済み  
担当 板橋ブロック

旅行会 秋に開催予定

忘年会 12月開催予定

新年会 平成28年1月予定

三、他支部との交流

四、同好会活動の促進

囲碁同好会

(毎月・第二日曜日に開催)

ゴルフ同好会

(4月と9月の年2回開催)

パソコン同好会

(5月から課題の都度開催)

カラオケ同好会

(5月と10月の年2回開催)

ボート同好会

(レガッタ、日曜・祭日練習)

五、広報活動

会報「白門板橋」の発行

ホームページの更新

六、会員増強活動

イ・区民まつりに参加して、積極的に会員募集に努める

ロ・平素よりブロックごとに会員増強に励む

七、第24回ホームカミングデー

(多摩キャンパス)参加

■第四号議案

平成27年度収支予算(案)の件

(自・平成27年4月1日)  
至・平成28年3月31日)

■第五号議案

規約改正の件

規約改正につき、審議の結果、満場異議なく承認可決された。

第3章 会計

第16条(会計)第2項

「本支部は、会員から会費として年額3000円を徴収する」

この後に「但し、10月1日以降の入会者について年会費は金1000円とする」を追加する。

■第六号議案

その他 ボート同好会の新設

ボート同好会の新設を全会一致で承認。これにより当支部の同好会は、全部で五つとなった。

平成27年度収支予算案

自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日

収入の部			支出の部		
科目	摘要	金額	科目	摘要	金額
年会費収入	3,000×175名	525,000	雑収入	7,000×80名	560,000
雑収入	7,000×80名	560,000			
諸事業収入	新年会	420,000	諸事業	新年会	420,000
	観桜会	200,000		観桜会	200,000
	旅行会	750,000		旅行会	750,000
	忘年会	250,000		忘年会	250,000
会費収入	役員会	30,000	会費	役員会	30,000
	常任幹事会	180,000		常任幹事会	180,000
	幹事会	100,000		幹事会	100,000
	増強活動	20,000		増強活動	50,000
中央大学補助	中大活動補助金	50,000	ブロック支援	地域活動7×2万	140,000
中大訪問	参加者振出	75,000	事務局強化費	各種活動支援	60,000
寄付収入	事務・給	50,000	同好会補助	同好会補助	50,000
贈答品振出	会費免送等	30,000	活動補助費	会費・免送事務	100,000
受取利息	預金	0	慶弔交際費	会費・交際団体	100,000
雑収入		0	施設使用費	会費振用・行帯費	100,000
			会務作成費	年2回発行	400,000
			印刷費	各種案内	100,000
			事務消耗品費	用紙・インク等	20,000
			酒費	郵便料	150,000
			ネット関連費	ケーボード等の消耗	50,000
			中大訪問費	ホームカミングデー料	75,000
			支払手数料	会費振込・他	20,000
			雑	雑	5,000
収入計		3,240,000	支出計		3,913,000
前年繰越金		873,778	予備費		3,778
合計		3,913,778	合計		3,913,778

常任幹事会が開催される

8月22日(土)、午後6時からレストラン「さんいち」で、須田副支部長ほか常任幹事19人が出席して常任幹事会が開かれた。

大野幹事長が司会を務め、会計幹事による総会の経費報告、旅行委員による秋のバス旅行企画、事務局による区民大会やホームカミングデーの説明などがあつた。



▲深山副支部長の乾杯の音頭

その後、懇親会に移り、深山副支部長の乾杯の音頭で宴会開始。気が置けない仲間同士の暑気払いを兼ねた飲み会だけに、お互いに酒をつぎかわし、情報の交換を行った。午後8時、安井常任幹事の閉会の言葉でお開きとなった。

(徳永勝彦)

# 告知板

## ■板橋区 区民まつり

毎年、当支部では、板橋区主催の区民まつりにおいて、コーナーを設置して、新会員の募集と支部のアピールを行っています。



▲支部のコーナー（昨年10月）

今年も次の要領にて、コーナーを用意いたします。

期日 10月17日（土）～  
18日（日）の2日間  
時間 17日 11時30分～18時  
18日 9時～16時30分

場所 グリーンホール横の会員宅ガレージにコーナーを設置。

役割 ブロック毎に、当日の当番をお願いします。  
担当 大野正浩（幹事長）

## ■第24回 ホームカミングデー

母校では、次の要領にて、ホームカミングデーを実施します。

期日 10月25日（日）  
時間 10時 開会式（予定）  
場所 多摩キャンパス  
メイン会場では、支部のテーブルコーナーを用意する予定。



▲中央の絆（昨年10月）

なお、当支部では、特に送迎用のバスは用意しませんので、現地集合・解散となります。

（徳永勝彦）

## ■秋のバス旅行ご案内

名称 板橋白門会サンセットクルーズと東京スカイツリー

旅行日 11月9日（月）

集合 15時20分  
東京駅八重洲口鍛冶橋駐車場

内容 シンフォニー号の船上にてフランス料理。その後、東京スカイツリーの展望デッキに登り、日本一の夜景を眺める。

解散 21時30分 東京駅解散  
旅行費用 30名参加の場合は、1万500円、20名参加の場合は、1万3200円。  
（詳しくは、同封の案内状・申込書をご覧ください）  
（旅行委員 川崎力男）

## ★新入会員

氏名 加藤久士（かとうひさし）  
卒年 昭60年・法卒  
住所 板橋区板橋  
趣味 野球、ゴルフ  
ブロック 板橋

氏名 松澤吉晴（まつざわよしはる）  
卒年 昭48年・経卒  
住所 町田市高ヶ坂  
趣味 ゴルフ、ドライブ  
ブロック 区外

氏名 矢作 清（やはぎきよし）  
卒年 昭40年・法卒  
住所 板橋区赤塚  
趣味 ゴルフ、旅行、読書  
ブロック 赤塚  
（事務局）

## ■白門レガッタ開催

中大学友会 体育連盟ボート部は、今年も白門レガッタを左記の要領にて実施します。

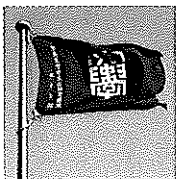
このレガッタは、ボート部の学生が中心となって運営する学内のレガッタです。レガッタとは、ボート競漕のことです。

記

日時 2015年11月14日（土）  
場所 戸田オリンピックボートコース 中大宿所付近  
時間 午前9時 開会式  
要領 4人1クルーで参加。  
レース後に、表彰式、打ち上げパーティーを予定。  
参加者 当支部の選手名  
布施・山本・乙女・小宮・及川・山田・笹沼（卒順）  
7人で2チーム参加。  
コックスには、中大ボート部員がつく。

チーム名 板橋白門ボートチーム

（ボートは、「板」の意味）是非応援に来てください。



（ボート同好会 小宮 仁）

■随想

平山惟美

『終活』ことはじめ

■終活の定義

先日の新聞報道で、日本男性の平均年齢は80・5歳、女性は86・4歳とあった。

今年五月に傘寿を迎えた私は、人生の第四コーナーにさしかかったのを機会に、自分の死後遺された家族に引継ぐべき財産等の経済的価値があるものをはっきりさせて、いわば会社が決算や整理のために行う「棚卸し」のような活動をいうことにします。

■預・貯金&株券

わが家は結婚以来、給与袋は、家内に渡し、家計のやり繰りは総べて家内が行ない、預貯金の管理もガラス張り、相続に混乱することはない。ただし、お互い暗黙の了解のうちで別途個別に管理する「へそくり口座」には干渉しないことにしている。

株券は現役時代に積立てた会社株券で、家計を預かる家内は十分内容を承知して、永い間会社で忠誠を誓って塩漬けにしてきたのでそろそろ売却してもいいだ

ろうと意見されている状況である。

■土地・建物

武蔵野の一角に、三十坪の土地を手当てして住宅金融公庫の融資をようやく当て、わが家を建築したのは昭和37年2月で、私たち夫婦が共に27歳の時だった。

住宅事情が悪い時代だったため学生時代に5度も部屋を住み替えたが、借手側は全く弱者の立場を強いられ、結婚生活も四畳半の部屋からスタートした。大家さんの軒先で生活した店子の不満が爆発して、耐乏二年後に武蔵野の一角に大胆にも戸建てのマイホームを建設した。上下水道にガスも敷設してない状況だったから、道路も舗装されたのは市役所に陳情して二年程経ってからだった。

狭くて小さな家で、通勤も買物も生活には不便な住まいだったが誰にも干渉されない「自由」を手に入れることができた。

あれから五十有余年。増改築を経たわが家は、家族構成も変わり高輪化した夫婦には、住みにくい住宅になり、日常生活に支障をきたして、目下のところは娘と孫の住むM市の集合住宅に高い家賃を支払って住み替えている。

持家を空家にして放置し、別途家賃を支払っての借家住まいに、何とも釈然としないものを感じていたところ、ひよんなことがきっかけで、大手不動産会社に土地・家屋の評価を仰いだのを縁に、トントン拍子に売却が決まり、思い入れの深い愛着の大きいわが家の不動産を手放す決断をした。



▲不動産売買契約書

住み馴れた近所への挨拶まわりに、売却のための土地の実測立ち会いなど、考えてみればこれらの行動も終活の一環なのだと思うと、おそろかにできないと気を引き締めるのである。

■書画・骨董・書籍

土地、家屋の売却が決まって、急遽忙しくなった。家財の整理は

「終いの住処」となるマンションなので、二世帯に割当てられる部屋数は限られる。戸建てと異なる集合住宅には家財の収納に規制されるから、家財の整理といっても引越先へ持ち込むか、廃棄するかの二者択一で判定はスピードが要求される。過去の思い出を捨て、私情をなくしての作業は、冷酷なものである。

書画・骨董に金目のものは少なかったもので、二科会会友だった友人の油彩画を5点。謙慎書道会の役員だった谷中の某寺住職の掛軸を友人にもらい受けてもらった。

書籍は膨大な量であった。愛蔵書でも古本屋の評価は厳しく、人を馬鹿にしたような買値に売却を断念し、産業廃棄物扱いでほとんどを処分した。芹沢光治良、阿川弘之、隆慶一郎の代表作に絞り込んで搬出した。

「特老ホームに勤務する友人の「アルバムは三冊あればよし」という助言を思い出して、整理にかかったが、大変な作業だった。廃棄した写真は、一枚一枚が過去との決別を意味するから大変なのでこれまでの自分の人生を否定するようで、終活は容易に人様に推奨すべきものではない。

(終)

### ■大門

今から三百年も前の庚申塔に大門村と書かれています。古い地名ではありますが、地名の由来としては、近くの赤塚城の大門であったのか、松月院に関連している大門なのか、それ以外なのかは分かりません。

大門は区域としては小さくて○・二四㎞しかありません。

### 地名の由来…③⑤

### 「大門」の巻

高島平が穀倉地帯であった頃、赤塚の台地と田んぼを往来した農耕馬が多かったので、馬坂と呼ばれる坂がありました。その近くに自生の竹林が昔からあり、それを生かした竹の子公園があります。そのとなりが諏訪神社です。

### ■諏訪神社

祭神は、建御名方神（たてみなかたのかみ）で、信州の諏訪大社の分霊を千葉胤胤（ちばよりたね）

がこの地に勧請したものとされています。

諏訪神社では毎年二月十三日に「田遊び」という夜祭が執り行われています。これは徳丸北野神社の田遊びと共に国の重要無形民俗文化財に指定されています。双方とも似ておりますが、違うところもあります。主導役の「大稲本」と補助役の「小稲本」が構成員と



▲諏訪神社 田遊び

なつて所作を始めるところは同じですが、諏訪神社では神輿が出てくるところが違います。

### ■田遊び

田遊びの内容を少し説明します。まず謡（うたい）から始まります。「四海波」「高砂」等が奉納されます。謡が終わりますと神官が祝詞を奏します。

次に神輿がでてきて御魂移しの儀が行われ、神輿渡御となります。天狗の面をつけた老人が先導します。神輿が戻りますと、もがり（二間四方の田遊びの行事をする場所）の前で鳥甲（とりかぶと）等を着けた天狗が右手に大きな幣（ぬさ）、左手に錫杖（しゃくじょう）を持ち地鎮の所作を行います。

次に町歩調べといつて、まず徳丸村の苗代の数を調べます。それから田打ち、苗代かきという田んぼを荒おこしし、田をならすことをします。種まきをし、鳥追（苗代を荒らす鳥を追い払う）をし、田ならし（田に肥料を入れてならす）をします。ここまでできて、やつと田植になります。

次に呼び込みをやります。一人が大鼓の上にあがり大声で呼びます。すると早乙女（五歳位の男子）が指し出され、両手で高く差し上げます。すると「太郎次、安女（やすめ）」の夫婦があらわれ、濃厚な抱擁を繰り返します。五穀豊穡を表現しています。

最後に田の草取りをして稲刈りとなります。

今回、諏訪神社の宮司榎本富男様には資料の提供、隨身門の説明など大変お世話になりました。

（文・写真とも 中三川孝幸）

### \* 編集後記 \*



★今夏、東京は8月16日まで29日間、連続して真夏日が続き、ようやく翌日は雨が降った。

日本列島が猛暑に襲われ、涼しいはずの北海道でさえ暑い日が続いた。以前にはあまりなかった竜巻なども各地で発生し、気候変動が生じている。

こう暑いと編集作業もなかなかほかどらず、結構きつくて、晩酌の量だけが增えてしまう。

★子は親の姿を見て育ち、後輩は先輩の行動を規範とする。

先輩の多くは、自分の苦勞を後輩たちにはさせたくないと思っている。平山惟美先輩の随想「終活」は、そんな心境を私小説風に書いている。

終活という語は、今や新語ではない。週刊誌や雑誌で一般に使われている。そのうち国語辞典にも用語として載るでしょう。随想「終活」を生きる糧として読んで欲しい。

（伊藤 潤）